

名塩南台防災ガイド

保存版

このガイドは災害が発生した時、少しでも多くの人々の命を守るために作成しました。

南台の街開きより早34年が経過しましたが、その間幸いにも大きな災害に見舞われることはありませんでした。しかしながら、これまで災害に遭わなかったからといって、今後も大丈夫という過信は禁物です。昨今、想定外の災害が、日本各地で発生しております。その意味では、防災に関する情報を共有し、起こりうる災害に対して、平時より必要な備えを準備しておくことが大切だと思います。そこで今回は土砂災害に関する防災ガイドを作成しました。自治会では、緊急性が高い事態が発生した場合には、会長より各ブロックの理事へ、その後各班長へ、さらに各班長より各御家庭へ通達する連絡網を設けており、それに従って冷静な行動を取って頂くよう、今一度防災ガイドをご確認いただき、有事の際はご協力をお願いいたします。

令和4年10月 防災担当 中野・田中

避難情報

災害が起きる可能性が高まった際、西宮市から避難情報が発令されます。避難を開始するタイミングを決める際の参考にしましょう。

気象情報
気象庁が発表!

警戒レベル 1 早期注意情報
最新の情報に注意

警戒レベル 2 注意報等発表など
避難行動を確認

避難情報
市が発令!

警戒レベル 3 高齢者等避難
危険な場所から高齢者等は避難

警戒レベル 4 避難指示
危険な場所から全員が避難

警戒レベル 5 緊急安全確保
命の危険! 直ちに安全確保

災害発生 危険が迫る
警戒レベル 4 までに必ず避難!

警戒レベル3 高齢者等避難は高齢者など避難に時間のかかる方が避難するタイミングの目安です。ただしそれ以外の方も状況に応じ、避難の準備をしたり、避難を開始しましょう。



避難情報はテレビやラジオ、市のHPなど、様々な媒体から得ることができます。

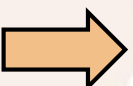
どんな情報収集手段があるか事前に確認しておきましょう。



避難情報は災害ごと、地域ごとに出されます。しっかりと自分に関係のある情報が確認して、避難しましょう。

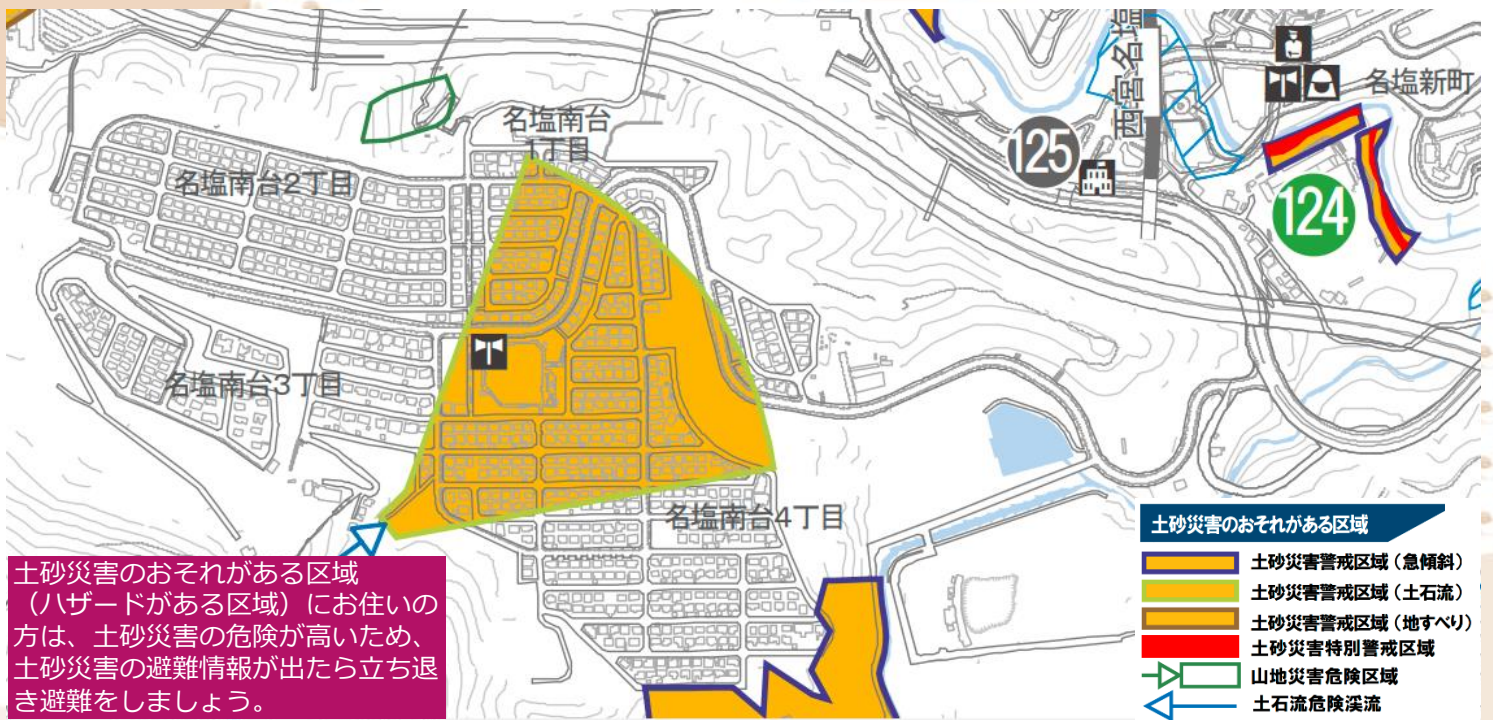
名塩南台に発令される可能性が比較的高いのは土砂災害の避難情報です。

土砂災害については裏面へ



ハザードマップ

自然災害による被害想定が一目でわかるマップです。これを参考に避難場所や避難経路を考えましょう。
このマップは名塩南台付近を拡大したものです。西宮市防災マップにはもっと広域のマップも掲載してあります。



土砂災害の避難情報が出た際の立ち退き避難先

市の避難所へ避難

名塩南台付近の市の指定避難所(土砂災害)
塩瀬中学校

災害が迫っているなか、避難するにはやや距離があります。

早めの避難を心がけましょう。

みんなで車に乗り合わせての避難ができるように
普段から話し合っておくのも1つです。



安全な場所にある親戚・知人宅へ避難

避難所に限らず、被害の可能性が低い地域へ早めに避難しましょう。

危険な場所に住んでいる人は近所の安全な場所に住んでいる人の家に避難できるように、安全な場所に住んでいる人は避難を受け入れることができるように、日頃から顔の見える関係を築いておきましょう。

共助

先ほどの避難の話もそうですが、防災においては、地域で共に助け合う「共助」も必要です。

そのためには、**普段から顔の見える関係がとても大切**で、地域の活性化だけではなく、いざという時に自分の身を守ることにともなわれます。

自治会ではこんな顔の見える関係づくりを行っています。**皆さんぜひご参加ください。**

年2回の地域内大掃除



月2回の回覧による情報の共有

毎月の理事会開催による
地域の課題等の議論

自治会館の利用促進



名塩南台防災ガイド

保存版

災害への備え（備蓄品・非常持出品）について ～あなたの備えは万全ですか？～

このガイドは災害が発生した時の為に、事前に備蓄をしておいた方がいいと考えられるアイテムと、立ち退き避難をする際に推奨される非常持出品についての提案を示したものです。「備えあれば憂いなし」と言います。起こりうる災害に対して、平時より必要な準備をしておくことが大切だと思います。

このガイドが皆さまの事前の備えの一助となれば幸甚に存じます。

令和5年4月 防災担当 中野・田中

備蓄品の準備

災害発生時、支援物資はすぐには行き渡りません。

食料と飲料水は家族の人数×7日分準備しておくことが推奨されています。

※ライフラインの復旧や物流の回復、店舗販売の再開まで最低1週間は要すると言われています。

店舗販売の再開が見込まれるまでの最低7日分は各ご家庭で備蓄しておきましょう。

品目	備考
食料 (7日分)	インスタント・レトルト食品、缶詰、乾パン、栄養補助食品、お菓子 など ※他にも、カセットコンロ等の調理器具を備えていれば、 普段食べているほとんどのものが備蓄食になります。
飲料水 (7日分)	大人1人当たり1日3リットル (水だけではなく、野菜ジュース、スポーツドリンクなども込みで)
トイレ用品	簡易トイレ、汚物保管容器、トイレ袋、トイレットペーパー
燃料	カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料、電池など
その他	モバイルバッテリー、ランタン、懐中電灯、ウェットティッシュ、 ラジオ、毛布、寝袋、食品用ラップフィルム、衛生用品、 ポリタンク（生活用水を入れて備蓄しておく） など

備蓄のコツ 「ローリングストック方式」

- ①「いつも」食べている食品(使っている日用品)の
買い置きをいつもより多めにする
- ②賞味期限が近いものから順番に食べる
- ③すべて消費する前に補充する



災害時でも普段と同じ物だから安心！

カセットコンロ等の熱源があれば、停電時でも冷蔵庫・冷凍庫にある食材の調理ができるので、冷蔵庫・冷凍庫の食材も備蓄食料と考えることができます。

熱源を用意して、冷蔵庫・冷凍庫の食材を含めて7日分の準備をしましょう。

非常持出袋の準備



非常持出袋を用意して、中に非常持出品を詰めておきましょう。

袋の中身は成人男性で15kg、成人女性で10kgを目安に、

背負って走れる程度の重さにしましょう。



非常持出袋を準備できたら、避難場所まで歩いてみましょう。

避難所の備蓄品には限りがあります。**必要なものは自分で用意して避難してください。**

また、**準備した物品を定期的に点検する**ことが必要です。

例. 消費期限が切れていないか、電池は切れていないか、物品が不足していないか

非常持出品の例

□ 飲 料 水	□ 非 常 食	□ 貴 重 品	□ 救急用品・医療品 感染防止品
 重くなりすぎないように、最低限 (500mlペットボトル2〜3本程度)	 食べやすく、 保存期間が長く、 調理せずに食べられるもの	 現金 (公衆電話用に10円玉・ 通帳・印鑑・健康保険証・ 免許証の写しなど	 消毒薬・包帯・三角巾 マスク・体温計・スリッパなど
----- その他 -----			
<input type="checkbox"/> ホイッスル (笛) <input type="checkbox"/> <u>携帯電話のモバイルバッテリー</u> <input type="checkbox"/> 衣類 (上着、下着、靴下) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ + 予備電池 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ローソク、ライター <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> 厚手の手袋 (軍手) <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 + 予備電池 <input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ <input type="checkbox"/> 衛生用品 <input type="checkbox"/> 石鹸、ドライシャンプー <input type="checkbox"/> 歯磨きセット	<input type="checkbox"/> 底の丈夫な靴 <input type="checkbox"/> 雨具、防寒具、保温シート <input type="checkbox"/> 携帯用カイロ <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ <input type="checkbox"/> 簡易食器 (割り箸、紙皿) <input type="checkbox"/> 携帯ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> 家族やペットの写真	

家族構成や世帯事情に応じて必要な物の例

乳幼児 離乳食 粉ミルク・液体ミルク おむつ おしりふき など 	妊 婦 母子健康手帳 脱脂綿 ガーゼ 新生児用品 など 	高齢者 入れ歯 介護食 大人用おむつ など 
疾患のある方 主治医連絡先 持病薬 お薬手帳 など 	ペット リード ケージ トイレ用品 ペットフード など 	その他 メガネ コンタクトレンズ 補聴器 など 